



### 命を縮める心不全のパンデミック

2026年6月より春日井リハビリテーション病院附属クリニックの院長に就任いたしました、循環器内科医師の横井清と申します。

心臓は全身から戻った酸素の少ない血液を肺に送り、肺で酸素を取り込んだ血液を全身の臓器に必要な栄養とともに送って循環させるポンプとして働いています。心不全はこの心臓の働きが低下することで起こり、初期には体を動かすことで心臓に負荷がかかると息切れや動悸、手足のむくみが見られます。進行すると呼吸困難となり入院治療が必要となる命に係わる病気です。日本の患者数は100万人とも言われ、高齢化とともに急速に増加してパンデミックとなっていて、今後10年以上にわたって続くと考えられています。



心不全の原因として、動脈硬化が原因で心臓の血管が詰まり一気に心臓の機能が低下する急性心筋梗塞はよく知られています。しかし、高血圧や不整脈など身近な病気でも、長期にわたると心臓に負荷がかかり心不全を引き起こします。多くの場合は、急にゼーゼーと息苦しくなる急性心不全として発症して初めて診断され、治療により一旦は落ち着いても慢性心不全の状態となり、心臓に負担がかかると再発し入院を繰り返して、最終的には死に至る病気で完治することはありません。

また、動脈硬化の原因となる高血圧、糖尿病、メタボリック症候群や脂質異常症等は自覚症状がないため健康診断を受けることが必要です。心臓弁膜症は生まれつきと思われがちですが、心臓の出口にある大動脈弁は大動脈と繋がり、大動脈弁狭窄症は動脈硬化が原因で加齢とともに発症します。手術が必要なほど重症でも自覚症状のない人もいますが、心不全が起こると急速に進行する大変予後の悪い病気で、心雑音により診断されます。

階段を上ると息切れや動悸がする、手や足がむくみ急に体重が増える、夜何回もおしっこに起きる、横になると咳が出て息苦しくなり起き上がるなどは、心不全の症状ですので医師の診察を受けてください。心臓の働きが保たれている初期の段階から原因となる病気を治療することで、心不全を予防することができます。症状がなくても健康診断や住民健診を受けていただくことをお勧めします。

院長 横井 清

#### 病院の理念・基本方針

##### 1. 豊かな人生への支援

- ①QOL(Quality of Life：生活の質)を重視したチーム医療の実践
- ②患者さまを主体とした思いやりのある医療・サービスの提供

##### 2. 地域社会への貢献

- ①健康増進と予防医学の啓蒙
- ②地域医療機関・福祉施設との緊密な連携

#### 患者さまの権利

- 1. 患者さまは公平で良質、かつ安全な医療を受ける権利があります。
- 2. ご自身の病気や治療について知る権利と十分な説明を受ける権利があります。
- 3. ご自身の治療について、担当医師から提示された治療方法を選択または拒否する権利があります。
- 4. 病院に対して、意見、要望を述べる権利があります。
- 5. 患者さまのプライバシーは常に保護・尊重されます。

#### 我々の目標

- A. 疾患の治療にとどまらず、患者さまの生活・社会背景を熟慮して、最適な医療・サービスをご提案します。
- B. 安全で安心できる快適な療養環境の整備を行い、満足していただけるケアが提供できるように努めます。
- C. 日々進歩する医学に対し、正確な医学知識の習得を常に心がけます。
- D. 診療技術および看護・介護技術向上のための研鑽を怠りません。
- E. 診療内容・医療情報をわかりやすく説明し、互いの信頼関係を築くことを心がけます。
- F. 患者さまのプライバシーに配慮し、個人情報秘密を守ります。
- G. 地域医療機関・福祉施設と協力し、医療から福祉へ連続したサービスを提供できるように努めます。
- H. 働く人の生き甲斐となるような病院、職場づくりを目指します。



「ドロミーティ(イタリア)」

加藤 恵子 作



私たちは、春日井の魅力発信を  
応援するパートナーです。

## のどが渴く前に!命を守る「夏の水分補給」

今年も例年通りの、あるいはそれを上回るような厳しい猛暑がやってきます。  
本格的な夏を迎える前の7月から、しっかり熱中症対策を始めましょう。

特に高齢の方は体内の水分量が少なく、のどの渴きを感じにくいいため、気づかないうちに脱水が進む危険があります。

「のどが渴く前に飲む」を合言葉に、次の3つのポイントを意識してください。

### ●時間を決めて飲む

起床時、毎食後、入浴前後、就寝前など、のどが渴いていなくても  
コップ1杯の水分を摂る習慣をつけましょう。

### ●食事からも水分を

食欲が落ちて食事量が減ると、食事から摂れる水分も不足します。  
スープや味噌汁、みずみずしい夏野菜を意識して食卓に取り入れ  
ましょう。

### ●枕元に飲み物を

夜間の脱水を防ぐため、目が覚めた時にすぐ飲めるよう、  
枕元に水筒などを準備しておくで安心です。



**暑さに負けないよう、今からこまめな水分補給を心がけましょう。**

栄養管理科 主任 須崎 文則

## リハビリテーション科新入職員のご紹介

4月より、新たに理学療法士4名、作業療法士3名の計7名の新人職員を当院のリハビリスタッフとして迎えることになりました。これから徐々に現場経験を積みながら、医療人として成長していけるよう、リハビリテーション科全体で指導、サポートをしていきます。リハビリスタッフ一同、初心を忘れず業務を行ってまいりますので、温かく見守っていただけると幸いです。



リハビリテーション科 言語聴覚士 倉田 紗希



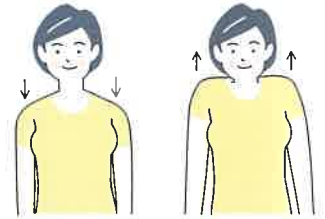
## 上肢の運動

～リハビリテーション便り

私の職業である作業療法は、日常生活を自分らしく過ごせるように、動作や環境を整えるリハビリです。上肢の体操はその一つであり、肩や腕の動きを滑らかにし、着替え・家事・趣味などの生活動作を行いやすくします。無理のない範囲で続けることで痛みの予防や動作の安定にもつながります。今回は自宅でも行いやすい体操をいくつか紹介します。

### 肩の上げ下げ

肩をゆっくり持ち上げて、力を抜いて下ろします。肩まわりの血流を良くします。



### 肩回し

肩を大きく前回し・後ろ回しに行い、肩関節と肩甲骨の動きを滑らかにします。



### 腕の前上げ・横上げ

腕を前や横にゆっくりと上げ下げを行います。



### 肘の曲げ伸ばし

手を軽く握り、肘をゆっくりと曲げ伸ばしします。



### 指のグーパー運動

指を大きく開いて閉じます。手のこわばりをほぐし、血流を促します。



リハビリテーション科 作業療法士 大西 紗矢佳

## 陽和福祉会より

こんにちは 高齢者福祉施設 どんぐりの森です。

どんぐりの森では、「笑顔・安心・つながり」を大切にしながら、ご入居者さま・ご利用者さま一人ひとりがその人らしく、毎日を穏やかにお過ごしいただけるよう支援しています。季節の行事やレクリエーションなどの楽しみを通して、ご入居者さま・ご利用者さま・ご家族さまや地域とのつながりを大切にし、笑顔あふれる時間を感じていただける施設を目指しております。

夏の恒例行事としまして、『花火大会』を開催いたします。施設駐車場でゆったりと花火鑑賞をし、心に残る夏の思い出を作りたいと思います。

今後も病院をはじめ地域の皆さまとつながりをひろげ、安心して暮らせるまちづくりに貢献できる施設となるよう進めて参ります。

これからも高齢者福祉施設どんぐりの森をどうぞよろしくお願いいたします。



# 花火大会



どんぐりの森 施設長 高木 貴史

4/8 入社式  
4/9 新入職員オリエンテーション  
5/27 BLS研修1回目  
6/1 BLS研修2回目  
6/12 避難訓練・消火訓練

総務課  
教育研修委員会  
教育研修委員会  
教育研修委員会  
災害対策委員会

～以下の研修はe-ラーニングによる研修です～

|    |              |
|----|--------------|
| 4月 | 第1回感染対策研修    |
| 4月 | 第1回身体拘束最小化研修 |
| 4月 | 医療機器研修       |
| 4月 | 看護補助者研修      |
| 4月 | 褥瘡研修         |
| 5月 | 第1回医療安全研修    |
| 6月 | 医薬品救済制度研修    |

感染対策委員会  
身体拘束最小化委員会  
医療安全対策委員会  
看護部  
褥瘡対策委員会  
医療安全対策委員会  
薬剤科

4/22 第179回リフレッシュ!プライマリーケア塾  
「かかりつけ医から抗アミロイドβ抗体薬使  
5/27 第180回リフレッシュ!プライマリーケア塾  
当院における骨粗鬆症診療

エーザイ株式会社  
るか?」  
第一三共株式会社

●看護師・准看護師 ●介護福祉士 ●介護士（未経験・無資格者応募可） ●看護助手  
●理学療法士・作業療法士 ●社会福祉士

◎勤務日数等、相談可 ◎新入職員への支援研修を行っていますので、新卒の方、ブランクのある方も歓迎します。  
◎託児所（定員有、平日日中のみ）もあります。◎なお、ハローワークや当院まで直接ご連絡の上、採用となった方には基本給が優遇  
される場合があります。■休日／変形休日制（4週8休）■委細面談／履歴書提出（写真貼付）※郵送可

担当／看護部 向・総務課 大川内

午前：9時～12時 午後：3時～5時

|    |            | 月  | 火  | 水    | 木  | 金    | 土  |
|----|------------|----|----|------|----|------|----|
| 午前 | 内科         | ○  | ○  | ○    | ○  | ○    | ○  |
|    | 循環器内科      |    | ○  | ○    | ○  | ○    | ○  |
|    | 呼吸器内科      |    |    |      |    |      | ○  |
|    | 消化器内科      | ○  | 予約 |      |    |      |    |
|    | 整形外科       | ○  | ○  | ○    | ○  | ○    | ○  |
|    | リハビリテーション科 | ○  | ○  | ○    | ○  | ○    | ○  |
|    | 乳腺外科       |    | 予約 |      |    | 予約   |    |
|    | ペインクリニック内科 | ○  |    |      |    | ○    |    |
| 午後 | 皮膚科        |    | ○  |      |    |      |    |
|    | 心療内科       |    |    | 完全予約 |    | 完全予約 |    |
|    | 健診科        | 予約 | 予約 | 予約   | 予約 | 予約   | 予約 |
|    | 内科         | 予約 | 予約 | 予約   | 予約 | 予約   |    |
|    | 脳神経外科      |    |    |      | 予約 |      |    |

\*月曜日～木曜日午後の内科診療を予約制にて再開いたしました。

色の診察は予約制となります。

\*乳腺外科の火曜予約は、第一火曜日のみとなります。

\*呼吸器内科は第二・第四土曜日のみとなります。

\* 第五土曜日は休診です。



ホームページ: <http://www.kreh.or.jp>

〒480-0304 春日井市神屋町706

■春日井リハビリテーション病院

Tel:0568-88-0011 (代) Fax:0568-88-1548

◎一般病棟39床、回復期リハビリテーション病棟60床、療養病棟180床

■春日井リハビリテーション病院 附属クリニック

Tel:0568-88-0033

Fax:0568-88-0061

【在宅支援室】

◎訪問診療・居宅介護支援事業所

Tel:0568-88-1232

Fax:0568-88-0633

◎短時間型通所リハビリテーション(デイケア：1-2時間)

Tel:0568-88-0248

Fax:0568-88-0633

【診療健診部】

◎健診科

Tel:0568-88-8275

Fax:0568-88-0633

## ■地域包括支援センター高蔵寺

Tel:0568-37-0780

Fax:0568-37-0782

〒487-0025 春日井市出川町2-8-10